

コロナ危機下の医療提供体制研究会提言

～コロナ危機で露呈した我が国医療提供体制の課題克服に向けて～

1

小林慶一郎

キャノングローバル戦略研究所研究主幹、慶應義塾大学教授

コロナ危機下の医療提供体制研究会

- ▶ ・井伊 雅子 一橋大学 国際・公共政策大学院 教授
- ▶ ・大橋 博樹 多摩ファミリークリニック 院長
- ▶ ・草場 鉄周 日本プライマリ・ケア連合学会 理事長
- ▶ ・小林 慶一郎 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹／慶應義塾大学経済学部 教授
- ▶ ★小宮山 宏 三菱総合研究所 理事長／プラチナ構想ネットワーク 会長
- ▶ ・佐藤 主光 一橋大学大学院経済研究科 教授
- ▶ ・鈴木 富雄 大阪医科薬科大学地域総合医療科学寄附講座 特任教授
- ▶ ・土居 丈朗 慶應義塾大学経済学部 教授
- ▶ ・南郷 栄秀 聖母病院 総合診療科 部長
- ▶ ・森山 美知子 広島大学大学院医系科学研究科 成人看護開発学 教授
- ▶ ・湯崎 英彦 広島県知事
- ▶ ・渡辺 幸子 グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン 代表取締役社長

提言の経緯

- ▶ コロナ危機下の医療提供体制研究会（昨年6月～ ）
- ▶ 昨年9月25日 医療提供体制崩壊の防止と経済社会活動への影響最小化のための6つの提言 https://cigs.canon/article/20200925_5371.html
 - ▶ 短期のコロナ対応
- ▶ 今年の夏ごろ 長期的な医療体制の構造課題についての提言（予定）
- ▶ 今回は中間報告： コロナ対応と中長期の課題

提言の構成

- ▶ 第4波に備えるために
- ▶ コロナ危機で明らかになった我が国医療提供体制の課題
- ▶ 緊急時対応の強化
- ▶ 平時における医療提供体制の構造改革

第4波に備えるために

- ▶ 感染拡大防止
 - ▶ 検査＋追跡＋隔離の強化
 - ▶ 民間検査会社との実効性ある連携
 - ▶ 保健所の体制強化
 - ▶ COCOAの修復と普及拡大
- ▶ 医療提供体制強化
 - ▶ 大規模病院の重症者受け入れ能力・実績の「見える化」
 - ▶ 医療機関の役割分担（軽快者を受け入れる病院、介護施設）

コロナ危機で明らかになった我が国医療提供体制の課題

- ▶ 欧米より一桁以上少ない感染者の日本でなぜ医療逼迫？
- ▶ ICUなどの取り扱い可能な人材が不足
- ▶ 医師看護師が薄く広く分散
- ▶ コロナ対応を行わない病院は一定数いる
- ▶ 看護師不足が顕著

緊急時対応の強化

- ▶ 保健師の業務は、看護師による代替を最大限拡大
- ▶ 平時から個人の医療情報を電子化・集約化
- ▶ 緊急時に必要な医療資源を動員できる制度的仕組みが必要
- ▶ 緊急時には、保健所設置市区の長の権限を知事に一元化
- ▶ 救急車内で救急隊員や看護師が医療的措置をできるようにする
- ▶ 緊急時派遣登録看護師制度を構築する

平時における医療提供体制の構造改革

- ▶ 2023年まで（第8期地域医療計画の策定まで）
 - ▶ 医療デジタル化を推進、患者情報の共有、デジタル庁が役割を果たす。
 - ▶ 診療報酬を差別化し、メリハリある自己負担を設定
 - ▶ コロナ対応、オンライン診療、のできる「かかりつけ総合医」をリスト化
 - ▶ 「保健所＝公衆衛生、診療所＝地域医療」の峻別を越え、かかりつけ総合医が両機能を調整
- ▶ 2024年～2029年まで
 - ▶ 病院完結型から地域完結型へ（平成の市町村合併にならうインセンティブ付け）
 - ▶ 診療報酬を1日定額や出来高払いから、1入院あたりの包括払いへ転換
 - ▶ プライマリ・ケアのシステムを導入
 - ▶ 看護師については機能を多様化し、職責を大きくし、やりがいと処遇を向上すべき